

杜の伝言板

ゆるるる

特集
復興への
道

親をなくした子どもたちに
学資支援を！

●NPO法人東日本大震災こども未来基金

震災孤児を長期で
物心ともにサポート

●NPO法人JETOみやぎ

笑顔と思い出を取り戻すために

●こどもとあゆむネットワーク



▲ NPO法人JETOみやぎ



▲ NPO法人泉里会

地域に密着したコミュニティ
FM放送開局を目指し、本格稼働

●NPO法人おおさきエフエム放送

被災しながらも障がい者
支援の新たな取り組みを

●NPO法人泉里会

●トピックス

SAVE JAPAN プロジェクト in 宮城 みんなで守る水辺の自然

●みやぎNPOプラザ【新入居団体紹介】

「子どもをケアする大人」のケア ～宮城県学童保育緊急支援プロジェクト～

親をなくした子どもたちに

学資支援を!

● NPO法人東日本大震災子ども未来基金
「寄稿」理事長 高成田享さん

東日本大震災子ども未来基金は、理事長の高成田享(仙台大学教授)が震災から間もない四月に、被害の大きかった女川町の中学校の先生との会話がきっかけで生まれました。震災で親を失った子どもたちがいると聞いて、子どもたちの状況を尋ねたときに、その先生は、「何ともありません」と言っただけで言葉が続きませんでした。そこで、子どもたちに少しでも支援の手を差し伸べようと募金活動をするのを思い立ちました。四月末には、インターネットに基金のホームページを立ち上げ、電子メールやツイッターなどで募金を始めました。

当初から決めていた運営方針は、間接経費を募金に頼らないことでした。どんな規模の活動にせよ、市民活動をする以上、郵便代のような連絡費は必要で、規模が大きくなれば、事務所や専門のスタッフも必要になるのは当然です。しかし、募金する側からすれば、自分の出したお金のどれだけが実際の支援に使わ



▲ 子ども基金のスタッフ。右から高成田享理事長、阿部恭子事務局長、高成田恵事務局長

れているのが気になりますし、できればその全額を支援活動に使ってほしいと考えます。そこで、募金活動で集めた資金の全額は、親を失った子どもたちに学資支援として支給し、間接経費は、会費などの形で別途集めることにしました。

支援が広がり 応募者全員に支給

友人、知人や理事らの人脈を通じて、寄付の輪は広がってきたので、学資支援の支給する内容を決め、受給する子どもたちを、石巻、宮城、福島の被災三県の教育委員会を通じて、各学校から応募していただくことにしました。支援の内容は、今回の震災で親(両親または片方の親)をなくした小学生から高校生までの児童・生徒を対象に、高校を卒業するまでの最長五年間、月二万円を支給する、というものです。応募の条件に「学校で学びたいこと」という題名の作文を提出していただくことにしました。

応募期間は六月の一ヶ月間という短期間でしたが、教育委員会や各学校の協力によって、二一九人の児童・生徒からの応募が集まりました。そこで、七月初旬に、選定委員会を開き、三十八

人の児童・生徒に支給することを決めました。選定委員には、渡邊剛・東北大学名誉教授、石出信正・仙台百百合女子大学教授らになっていただき、応募者に書いていただいた家族の状況や作文をもとに、二十八人を選びました。当時の募金総額は約一八〇〇万円、これが精一杯でした。選定は、「この子をなげ選べないのか」と、涙を流しながらの作業でした。



▲ 東京ディズニーランドの休憩施設でくつろぐ子どもたちと支援者たち

募金を広げるには、組織の法人化が必須だというのが、特定非営利活動法人(NPO法人)の申請を宮城県に対して六月に出し、八月には認証されました。申請から証までの手続きは、一般市民にとっては、やっかいなものです。事務局長の阿部恭子(NPO法人ワールドオープンハート理事長)が努力してくれました。

九月末には、募金額が約六六〇〇万円になったので、十月に第二回の選定委員会を開き、さらに七十人に支給することを決めました。募金額が大きくふえたのは、あちこちでこの基金のためのチャリティーコンサートが開かれたり、売り上げの一部を寄付してくださる商店などが増えたりしたのに加えて、米国のジョージア・スティーブス財団から約二六〇〇万円の大口の寄付をいただいたことがはみみをつけた。

さらに年末までに寄付総額が約一億円になったため、十二年一月からは、さらに二十一人増やし、応募者全員の二一九人に支給することになりました。現在

はさらに寄付金も増えたので、今年六月に開くNPO法人の総会で、支給期間の五年間を延長して、すべての児童・生徒が高校を卒業するまでの期間、支給することを決めようと思っています。

笑顔あふれる ディズニーランド旅行

震災から一年が過ぎて、子どもたちを取り巻く環境もそれなりに落ち着いてきたのではないかと考え、通常の募金とは別に寄付金を集め、石巻圏の子どもたちを中心にディズニーランド旅行を企画しました。兄弟もきめ十九人の児童・生徒が集まったので、三月末にこのバス旅行を行いました。ディズニーランドは初めてという子どもたちも多く、笑顔あふれる旅になりました。

三月には、支援してきた高校三年生が卒業し、基金へのお礼の手紙も届きました。震災直後は、大学進学をあきらめたこともあったが、基金などからの支援で、勉学に励むことができて、志望大学に入る事ができた、といった手紙を読むと、この活動を

してきたよかったです。うれしくなります。NPO法人の正会員も五十人近くになりました。会員の意見を聞きながら、これからも息の長い活動を続けていきます。

NPO法人 東日本大震災子ども未来基金

〒980-0804 仙台市青葉区大町
2-3-12大町マンション902号室
●TEL/022-398-7129
●E-mail info@mirai-kikin.com
●URL www.mirai-kikin.com

※子どもたちの作文や手紙は「作文」のコーナーで見ることができます。

震災孤児を長期で 物心ともにサポート NPO法人JETOみやぎ

震災直後から、宮城県内の遺体安置所に多くの棺を納め、葬儀を執り行ってきた葬儀業者株式会社清月記のスタッフは、たくさんの遺族に接し、心を悼めてきました。とりわけ、「両親を亡くし、物心共に不安な子どもたちのために何が支援の手を差し延べたい」という思いが募り、昨年の五月、社長の菅原裕典さんと社員有志らで「JETOみやぎ」を立ち上げ、今年二月にNPO法人となりました。団体名の「JETO」は、未来へ向かう飛行機に乗った子供たちが、それぞれの「生命(いのち)の物語」に向かって健全に飛び立つことを願い、英語句「for Japan Earthquake & Tsunami Orphans in Miyagi」(東日本大震災とその津波による宮城県の震災孤児に支援の手を)の頭文字から付けました。

支援金獲得のために奔走

「両親という支えがなくなった子ども達にとって必要な支援は何か?と考えたとき、今後就学面など経済的に不安だろうと考え、まずは返済不要で用途の縛りがない、支援金を十九歳まで毎年支給する活動を行うことになりました」と、事務局長の野川貴之さん。五月

集めに動きだしました。

まず六月に、お金の支援だけで終わるのではなく、震災孤児のことを共に



▲事務局長の野川貴之さん

考え、支援のメッセージを発して欲しいという思いを込め、ピンバッチやマグネット、ステッカーのキャンペーングッズを作成。年会費一〇一〇円の賛助会員となった企業や個人に対しての特典としました。そのほか一千元以上の個人寄付者に対して、グッズを提供しています。

また、企業に対し、寄付金に応じて協賛シールを届ける、キャンペーンを実施。これは参加企業が、利益の一部を「JETOみやぎ」に寄付したことで、社会に貢献していることをアピールし、企業のイメージ向上と販売の増加につなげるという取り組みです。昨年八月末に横浜で開かれた全国の葬儀業者が集うビジネスフェアにブースを出展した際には、チャリティーイベントを催し、そこから全国的な支援の輪が広がりました。

八十四名の震災孤児が登録

ある程度支援金の目途が立ち、七

月から登録する震災孤児の募集を始めました。県内の孤児に情報を届けるため宮城県子育て支援課に相談し、各市町村の教育委員会を通して、学校に募集のポスターや応募用紙を設置してもらいました。支援は両親を亡くした震災孤児に限るため、応募の際は孤児および親権者の戸籍謄本などを提出してもらいなどして審査し、十二月に五十名の児童が登録しました。

県内には一三六名の震災孤児がいる中の五十名の登録ですので、全員にしっかり情報が届いているか不安があり、今年の一月には野川さんとスタッフと二名で、北は気仙沼から南は山元町まで、二週間に渡り、被災自治体の幼稚園や保育園、小、中、高校を訪問し、JETOみやぎの震災孤児支援の説明をしました。その結果、さらに三十四名が追加で申込み、理事会での承認を経て、合計八十四名の震災孤児を登録しました。

各人に合った幅広い支援に取り組む

今年の二月には寄付された支援金の総額は一千万円を超え、二十三年度は各人に十万円ずつ支給することになりました。三月二十四・二十五日には、気仙沼・石巻、仙台で「生活・教育支援金贈呈式」をおこない、保護者と共に参加した登録児童それぞれに、十九歳まで支給する旨を記した認定証を贈りました。

これまで電話でのやり取りはありましたが、会うのは初めてでした。「顔の見える関係になったこと、お互いの距離が近くなったように感じます。子ども達が希望の未来を歩めるよう、しっかりサポートしていこう」という思いを

強くしました」と野川さん。

八十四名はそれぞれ置かれていく状況、求めている支援が違っても、今後はひとりひとりのカルテを作り、それに合わせて、心のケア、就学・留学などの相談、奨学金などのコーディネートなど、関係機関とつなげるなどとして、幅広くサポートしていく予定です。

支援金については、今後できるだけ年に二回程度支給したいと考えています。ただ年間に集まった支援金をもとに支給するため、長期で安定した支援金を集めることが不可欠です。企業の大口寄付など多くの方に寄付いただけよう、今後は認定NPO法人を取得したいと考えています。

JETOみやぎは震災孤児が未来に向けて自立できるための支援に、特化したプロジェクトとして、今後多くの方からの支援を募っていきます。



▲菅原理事長より、認定証を贈呈

NPO法人JETOみやぎ

〒983-0035
仙台市宮城野区日の出町2-5-4
●TEL/022-782-0303
●FAX/022-782-5778
●Mail info@jeto-miyagi.org
●URL http://jeto-miyagi.org

地域に密着したコミュニティFM放送

開局を目指し、本格稼働

● NPO法人おおさきエフエム放送

NPO法人おおさきエフエム放送は、大崎市を基点として地域の生活に密着した情報を届けたい！地元でぜひコミュニティFMを！という思いから、七年前に市民有志が集まり、FM放送局を作る発起人会を結成しました。これまでは県内のコミュニティFMの視察や、研修会、会議などに終始し、開局までには至っていませんでした。

しかし、大震災翌日の三月十一日、前から予定していた会議に集まったメンバーから、「こんな時こそ、地元の情報を届けたい！」と声が上がリ、早くFM放送ができるように大崎市長へ直談判に行き、市からの許可を得ました。臨時災害放送局は、総務省への免許申請が一回で二か月間の免許許可期間になるため、放送は三月十五日から五月十四日までと区切りを決め、スタートしました。十五日から本格的に災害臨時FMとして、具体的な放送準備を進め、放送に必要な機材や放送場所はメンバーや知り合いから借り、会のメンバー八人が企画や話し手を務めました。震災直後は、電気も中、発電機を回しながら活動をつづけました。

● 災害臨時FMとして放送開始

「もともとコミュニティFMを立

ち上げたいと準備を進めていた土台があつたからこそ、すぐに行動に移すことができました」と理事長の山家隼さん。

放送期間の毎日、午前中

に災害情報や生活支援情報を収集して編集。十三時、十五時、十七時の三回放送しました。日曜日にも聴けるようにと、土曜日放送分を録音して再放送しました。

放送を開始すると、安否確認を取りたい市民が手書きメモを持って訪れるようになり、放送を知り、MC（注）や情報収集をする、市民ボランティアも出てきました。

「今日の放送の声、元気がなかったから」と栄養ドリンクや食べ物を通して入れる方なども現れ、だんだんとラジオが市民に浸透していくのを実感しました。また、二か月間には何度か大崎市長も番組に出演。被害状況や今後の展開を市民に直接届けました。これには「市長から直接情報を聴けて、とても安



▲理事長の山家隼さん

心した「もっとラジオをつづけて欲しい」と声が寄せられました。

● 宮城県初の NPO法人FM放送局へ

臨時災害FMの放送は五月に終了しましたが、震災によって、自分たちが生活していくなかで、情報がいかに重要かを再認識した二か月間。これからも地元大崎から、地域に密着した生活情報、大崎市外の方へは、より大崎を知ってもらうための情報を伝えたいと感じ、六月から「おおさきFM開設準備室」として開局準備を始めました。その際、今後活動していくにはどういった組織体がいいのか話し合い、企業、合同会社、NPO法人などが検討されました。最終的にたどりついた答えは、「コミュニティFMは、地元住民の参加が第一だし、市民とラジオが協働することで地域に密着したFMラジオになる」という思いから、NPO法人化を決定。昨秋にNPO法人の申請をしました。

開局したら市民の皆さんにも放送に関わってもらいたいと、昨年の十二月、MC養成講座（連続十回）を開催しました。講座では、MCとしての心得や、発声、朗読方法、ラジオの構成について学び、十名が修了証を手に入れました。今後は、修了生にもラジオに関わってもらえるよう工夫した、ラジオ番組構成を考えられています。

今年の二月に



▲MC講座で修了証を手渡す

NPO法人となり、二月二十日からインターネットを通じて動画や音声配信するサービスUSTREAMで配信を開始しました。そして今年の夏の開局を目指し、新たに大崎市七日町に事務局も設けました。

NPO法人が運営するコミュニティFMは、宮城県として初の試み。「まだまだこれから始まったばかりの取り組みです。市民の方とともに作り上げていく気持ちを第一に、支持を得られるよう、努力していきます」と山家さん。開局！本放送へ向け大崎市のお知らせや地元のニュースといった基礎情報に加え、商店街や大崎市に拠点を置く団体の活動を取り上げていく予定です。

（注）MC：マスター・オブ・セレモニーの略。一般的にはTV／ラジオの司会進行をする者を指す。ラジオパーソナリティともいう。

NPO法人おおさきエフエム放送

〒989-6153 大崎市古川七日町11-3
第一佐々木ビル3F
●TEL/0229-25-9568
●FAX/0229-25-9563
●E-mail info@oosaki-fm.or.jp
●URL http://oosaki-fm.or.jp/



▲臨時災害FMの様子

被災しながらも障がい者支援の

新たな取り組みを

NPO法人泉里会

気仙沼市本吉町で平成二〇年七月から障がい者の自立生活支援施設「ケアホームめぐみ」を運営しているNPO法人泉里会は、地域からの要望に応えて新たにもう一棟ケア



▲ 流失した施設跡

ホーム施設を始めようと準備をしていました。しかし、東日本大震災の津波により開所前だった施設はすべて流失しました。津波で流失した施設再開の目途は一年以上経過した今でも立っていません。国の交付金で再建しようと決め、土地も購入しましたが、今年度の交付金には漏れてしまいました。震災後、「障がい者の実態を考えると、一日も早くケアホームの再建を考えなければならぬ」と言っていた理事長の森谷隆三さん。現在は「次の交付金を当てにしていると、再建は雲をつかむような話になってしまうので、なんとか目途を立てて、今年度中に再建をします。」と決意を固めています。

プレハブで障がい児の支援

被災後、多くの団体やボランティアから支援を受けることで、今度は地域に還元することが大切だと気づいた泉里会。運営するケアホームめぐみでは障がい児を朝から夕方まで預かる、日中一時支援事業も行っています。震災後の昨年八月からは、より多くの子どもたちの支援が必要になった為、プレハブを建築しました。プレハブは日本財団や認定NPO法人難民を助ける会からの助成で建てることが出来、夏休みということもあり、毎日十人前後の子どもたちが利用しました。プレハブは、東京都社会福祉協議会や東京都発達障害支援協会から、定期的に来てくれているボランティアの方々の、宿泊施設としても活躍しています。「震災直後から、自衛隊の方々を始め、多くのボランティアの方や支援団体に支えられてきました。この感謝の気持ちをも自分も出来るだけ多



▲ 管理責任者菅原満子さん

くの人に渡してしていこうと思っています。」とケアホームめぐみの管理責任者菅原満子さんは言います。

障がい者移送サービスを開始

昨年十二月からは、ゆめ風基金の支援を受けて、障がい者の移送サービスも開始しました。移送サービスとは、自力での移動が困難な障がい者に移動手段を提供するサービスのことで、主に、車いすを搭乗させるリフトを完備した福祉車両などで行われます。気仙沼市本吉町や南三陸町では、障がい者の移送サービスがほとんど無いため、以前から求められていました。震災で更にニーズは高まりました。地震と津波の影響で道路状況が悪く、JRも不通のまま移動手段がないため、職場や施設に通えない障がい者が増えたからです。

そこで、移送サービスの重要性に気づき、泉里会では「NHK歳末たすけあい」から中央共同募金会を通じて、寄贈された、車両で移送サービスを始めました。主に南三陸町の仮設住宅から、気仙沼市社会福祉協議会みりの園に通う利用者や、ケアホームめぐみに通う子どもたちの移送を行っています。現在はゆめ風基金の支援を受けているため無料で行っていますが、今後は、障がい児のデイサービスも視野に入れ、活動していく予定です。

震災後、多くの人に支えられながら地域に対して様々な取り組みをしている泉里会ですが、現在、職員を募集しても応募がほとんどないという問題が浮上しています。これまでボランティアの協力を得て活動して



▲ プレハブで子どもたちと

が、いつまでも頼りっぱなしではなく、今後は泉里会の基盤強化も図っていく必要があると考えています。津波で流失した施設の再開にも人材が重要です。「震災後、人と人とのつながりの大切さが改めてわかりました。施設が流されても、人とのつながりがあり、なんとか立ち上がる事が出来ました。でもまだまだ復興には程遠いのが現状です。」と菅原さん。これからも泉里会は復興へ向けて、また、地域の課題を解決するため歩み続けます。

NPO法人泉里会

〒988-0331
宮城県気仙沼市本吉町中農141-6
●TEL/0226-31-1226
●URL
http://blogs.yahoo.co.jp/megumi_castle

SAVE JAPAN プロジェクト in 宮城

みんなで作る水辺の自然



▲プログラム開始に向け打合せ

(株)損害保険ジャパン(以下、損保ジャパン)は、紙の使用量・CO2排出量の削減につなげたいと、昨年からはインターネットで約款が見られるサービスを実施しています。そのサービスを更に、昨年からお客様が契約の際「WEB約款を選択した契約件数に応じて」いきものが住みやすい環境づくり」の活動に寄付をする「SAVE JAPANプロジェクト」を始めました。

昨年は、十二県の地域の環境団体とNPO支援センターが中心となり、東京の認定NPO法人日本NPOセンター、そして損保ジャパンが協働して、環境を守るイベントが開催されました。今年は、全国すべての都道府県で、希少生物種などいきものが住みやすい環境を保全する体験型プログラムを実施します。宮城県では、大崎市でシナイモツゴの保護と環境保全を行う

ている、NPO法人シナイモツゴ郷の会と、NPO法人社の伝言板ゆるるが協働で「みんなで作る水辺の自然を開催することになりました。

水辺の希少生物を守る

シナイモツゴ郷の会は、豊かな自然を次世代に引き渡すことを目的に、シナイモツゴやゼニタナゴなどの絶滅危惧種の保護を通じて、水辺の自然を守り、その恵みを受けながら地域の環境を守る活動を地域ぐるみで展開しています。

毎年、地域の小学校や自治組織の参加を募り、希少魚となったシナイモツゴやゼニタナゴを人工繁殖させる「シナイモツゴ里親制度」を設けたり、大きくなったシナイモツゴの稚魚を、遺伝子攪乱に注意しながら、ブラックバス等の外来魚のいない池や川に放流して、復元を目指しています。また、かつて品井沼に自生していたヒシの



▲シナイモツゴ

試験栽培なども手がけ、地域の特産化に取り組んでいるほか、このシナイモツゴ生息池の水で栽培した米をブランド化して、シナイモツゴの保護に貢献する農家を支援する「シナイモツゴ郷の米認証制度」を立ち上げました。

シナイモツゴと出会う

今回のプロジェクトは、シナイモツゴの里親になったり、生き物調査に参加してきている鹿島台の子どもたちと共に、街で暮らす仙台周辺の子どもの方が、一緒に生き物と出合い、それを守る環境について学ぶ機会とします。

第一回は、シナイモツゴの産卵期の六月十七日(日)に行う「水辺の貴重な生き物観察会」です。仙台周辺の小学生と保護者に参加を呼びかけ、仙台から一時間二十分ほど離れた大崎市鹿島台に貸し切りバスで出かけてます。実際に繁殖池に入り産卵ボットに産卵するシナイモツゴの生体観察をした後、地元シナイモツゴ郷の米の「つくり羊」の会の皆さんが作ったおにぎりとトン汁の昼食をいただきます。午後は、小川で生き物調査をします。

第二回は、九月下旬から十月にかけての収穫期に、鹿島台の稲穂が実る田んぼに入り、鎌を使っての稲刈り、そしてイガイガのヒシの実の収穫を体験します。実際に収穫したヒシの試食もします。

そして第三回は、仙台市内で、シナイモツゴの孵化活動に参加している小学生の体験発表や自然保護団体の活動紹介、鹿島台のため池に暮らす生物の紹介などを行う「フォーラムの開催を予定しています。絶滅危惧種といわれるシナイモツゴ



▲水源池の生き物調査

やゼニタナゴをなぜ守らなければならないのか、それがどのように自然に関係しているのか。もうきれいな小川で遊ぶ機会がなくなった、都会の子どもたちにとってその大切さを学び、まだ守れる環境を残している鹿島台の地域を守る重要性に気づく機会となるよう、シナイモツゴ郷の会と社の伝言板ゆるるが、協力して、取り組んでいきます。

※「水辺の貴重な生き物観察会」は、Back Pageをご覧ください。

お問い合わせ

【プログラムの内容について】
NPO法人シナイモツゴ郷の会(担当:二宮)
●TEL/0229-56-5671
●E-mail ninomiyakeiki@cup.ocn.ne.jp

【参加申込やプロジェクト趣旨等について】
NPO法人社の伝言板ゆるる
●TEL/022-791-9323
●FAX/022-791-9327
●E-mail npo@yururu.com

「子どもをケアする大人」のケア

～宮城県学童保育緊急支援プロジェクト～

**みやぎ
NPOプラザ**
このページは、宮城県からの
NPO関連のお知らせです。

これまで宮城県には仙台市学童保育連絡協議会の他に、学童保育のネットワークがありませんでした。そこで二〇一一年一月に開催された「宮城県学童保育講座」(主催:全国学童保育連絡協議会)を契機にと考えていた矢先、震災に遭いました。そんな中、全国学童保育連絡協議会に寄せられた義援金をもとに、仙台市学童保育連絡協議会が受皿となって、「宮城県学童保育緊急支援プロジェクト」を立ち上げました。こうして学童保育

みやぎNPOプラザの事務室に、四月より「宮城県学童保育緊急支援プロジェクト」が入居しました。宮城県学童保育緊急支援プロジェクトは、学童保育指導員の懇談と研修によって、指導員自身がそれぞれ抱えている課題を解決する力を取り戻すことを活動の柱として活動しています。学童保育とは、親の就労など昼間保護者が家庭にいない、おおむね十歳未満の児童に対して行われる支援のことです。授業終了後に指導員の下、児童館などで適切な遊びや家庭に代わる「生活の場」で、健全な育成を図ることを指します。



▲ 代表の油川さん(右)とスタッフの飯田さん(左)

その結果、震災以降休む間もなく仕事をしていた指導員が、互いに語り合うことで癒され、気力を取り戻したことや、全国のベテラン指導員を講師に迎え、子どもにとって学童保育とはどんな場か、指導員の仕事とは何かを、主題にした研修会を開催したこと、仕事への自信を喪失していた指導員が、仕事に確信を

持つて取り相めるようになってきたことなど、支援活動の成果が表れ始めています。しかし依然として県内の学童保育の社会的認知は低く、指導員の雇用不安定など制度そのものが貧弱なところが多いのが現状です。「支援から「共助」への転換を意識しつつ、長いスパンで支援活動が必要で、これまでの活動で県内各地の学童保育関係者との関係ができて、活動範囲が広がってきました。これからはプラザの事務ブースを拠点とし、更なる県内各地の関係者とのネットワークを強めていきたい」と油川さんは意欲を見せます。

「支援」のこれまで、「共助」のこれから
「震災で大きな痛手を受けた子どもだけでなく、子どもたちだけがまず安定しなければ、子どもの心に寄り添うことはできません」と代表の油川尚美さんは話します。このことから指導員のケアも必要と考え、現場の指導員から丁寧な話を聞いて、寄り添う支援活動を行っています。



▼ 七ヶ浜研修会

▲ 女川町研修会

◆問合せ先

宮城県学童保育緊急支援プロジェクト

〒983-0851 仙台市宮城野区権ヶ岡5番地

みやぎNPOプラザ レターケースNo.17

●TEL/090-1930-4908

●FAX/022-215-9867

●E-mail miyagi.gakudou0311@yahoo.co.jp



▲ 藤沢さんの読み聞かせ

● NPO法人の設立を新しく申請した団体

2012年3月11日～4月10日申請分

団体名	所在地	活動内容	受理日
まちの寄り合い所・うめぼたけ	石巻市	世代間、地域住民、外国人などとの交流によるふれあい事業等	3/21
みらい第三隊	本吉郡南三陸町	地域住民等に対して、生活活動の場づくり、及び新規事業の開始に関する事業等	3/22
みやぎ看護個人科医務情報ネットワーク協議会	仙台市青葉区	宮城県内の看護個人科医務情報の集約化、効率化を行い、市民の健康の向上を図る活動	3/27
山元・あしたの響き	丹波郡山元町	山元町を中心とした地域社会において、地域の活性化と振興発展に寄与する活動	3/28
フーズリンクみやぎ	仙台市宮城野区	食品関連事業者等の育成を通じて、経済活動の活性化を図る活動等	3/29
三善会	刈田郡蔵王町	介護保険制度に関するサービス提供支援事業等	3/29
日本ヘルスケア研究所	仙台市宮城野区	介護や生活支援が必要な高齢者、並びに高齢者に対して、介護保険法に基づく居宅サービス事業等	3/30
みちのく6次産業プラットフォーム	仙台市泉区	東北地域における農産物加工等6次産業化の支援事業等	3/30
がんばっしょん!玉藻	新沼市	岩沼市東部地区玉藻及び沼辺地区に対して、農業体験事業等を通じて地域の復興を図る活動	4/4
浜田ヨット&ボートクラブ	宮城県利府町	ヨット・ボート愛好者の活動を促進し、ヨット・ボート活動の安全確保に関する事業等を行い、地域住民の文化振興を図る活動	4/5
中国足心道療術師協会	大崎市	中国足心道の専門技術者、健康に関心のある人に普及、啓蒙させる活動等	4/9

● NPO法人に認証された団体

2012年3月11日～4月10日まで

団体名	所在地	活動内容	認証日
ボランティアインフォ	仙台市青葉区	NPO・市民、ボランティア団体に対してボランティア募集等の情報を提供する事業	3/23
東日本大震災復興支援おろびる	仙台市青葉区	東日本大震災の被災者を対象とした法律相談事業等	3/27
ベビースマイル石巻	石巻市	妊婦から未就学児の親子に対する子育て支援事業	3/27
想文	名取市	自殺遺族及び震災被災者等に対する心のケア事業等	3/29
バスケットボール振興会DOOR	仙台市泉区	バスケットボールを通じた健康づくり及び地域コミュニティ活性化支援事業等	3/30
子育て支援アシスト・エフワン	仙台市泉区	子育て家庭への子育て全般に関する支援事業	3/30
石巻漁業振興協議会	石巻市	外国人漁業実習生受け入れ支援事業等	4/4

宮城県の
NPO法人数

628
団体

(宮城県認証285団体)

2012年4月10日

現在数

※解散、所轄庁変更、
認証取消、撤回した
団体を除く。

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>

みやぎNPOプラザ

〒983-0851
仙台市宮城野区権ヶ岡5

TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533

E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp

ジャパン・プラットフォーム 「共に生きる」ファンド

- 助成対象:・東日本大震災の被災地・者に対する緊急から復興までの支援活動全般
・全国にある被災者の避難先における活動
- 対象団体:所定の要件を満たす非営利法人
(NPO法人、社団法人、財団法人、社会福祉法人ほか)
※任意のボランティアグループや団体等は含みません
※地元の非営利組織が支援活動を行うことを優先的にサポートします
- 助成金額:1事業あたり100万円～1,000万円(総額は当面10億円)
※前年度の支出実績等により金額が異なります
※事業内容や組織能力、申請団体の過去の実績によっては、1,000万円の上限を超えて助成することもあります
- 助成期間:初回の申請の場合、最長3ヶ月まで
初回の事業が問題なく実施されたことが確認される場合には、次回申請事業からは最長1年間まで可成とします
- 募集締切:第9次:5月15日(火)～5月21日(月)
- 連絡先:(特活)ジャパン・プラットフォーム
事務局事業部(震災担当)
〒100-0013 東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル2階266区
FAX:03-3240-6090 E-mail:proposal@japanplatform.org

第24回(2012年度) 地域福祉を支援する「わかば基金」

- 助成対象:1)支援金部門
一定の地域に活動拠点を設け、より活動の輪を広げたいというグループ
2)リサイクルパソコン部門
すでにパソコンを利用して福祉活動に取り組んでおり、台数を増やすことで活動の充実を図れるグループ
3)東日本大震災被災地 支援金部門
東日本大震災の被災地に活動拠点が有り、その地域で福祉活動をすすめているグループ
活動場所の再整備や被災地で新たな事業を展開したいと考えているグループ
- 対象団体:地域に根ざした福祉活動を展開しているグループ、NPO法人
※NPO法人以外の法人は対象になりません
- 助成金額:1)1グループにつき最高100万円(およそ8～10グループ)
2)1グループにつき3台まで(総台50～100台)
3)1グループにつき最高100万円(およそ5～7グループ)
- 募集締切:5月31日(木) 必着
- 連絡先:社会福祉法人 NHK厚生文化事業団「わかば基金」係
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1
TEL:03-3476-5955(平日10:00～18:00)
E-mail:info@npwo.or.jp

市民国際交流事業補助金 (平成24年度第2期)

- 助成対象:仙台市内又は国外において自主的に企画・実施する
1)多文化共生事業 2)国際交流事業
3)異文化理解事業 4)国際協力事業
- ※同一年度での補助金の交付は1団体1事業
- 対象団体:仙台市内を主たる活動場所とする非営利団体
- 助成金額:上限20万円(事業の規模により交付額が変わります)
- 助成期間:平成24年7月～平成25年3月に行われる事業
- 募集締切:5月31日(木)
- 連絡先:財団法人 仙台国際交流協会(SIRA)
〒980-0856 仙台市青葉区青葉山仙台国際センター内
TEL:022-265-2480 FAX:022-265-2485
E-mail:ogino@sira.or.jp

公益財団法人高原環境財団 環境活動に対する助成

- 【緑化を伴うヒートアイランド対策に関する助成】
- 助成対象:屋上・建物の外壁面・駐車場・空地等で行う新たな緑化事業で、樹木、芝、多年草等を植栽するもの
- 対象団体:日本国内に所在する法人、地域活動団体
- 助成金額:助成対象費用の70%または200万円のいずれか少ない額(総額600万円)
- 【子供たちの環境学習活動に対する助成】
- 助成対象:小学生以下の子供を対象に行う、緑化や自然体験などの環境保全に関する体験・学習活動
- 対象団体:日本国内の地域活動団体、保育園、幼稚園、小学校
- 助成金額:助成対象費用の額または50万円のいずれか少ない額(総額400万円)
- 【共通事項】
- ※事業対象地は原則人口10万人以上市区町村の市街化区域内になります
- 助成期間:平成24年7月1日～平成25年3月15日までの間に実施・完了するもの
- 募集締切:5月25日(金) 必着
- 連絡先:公益財団法人高原環境財団
〒108-0074 東京都港区高輪3-25-27-1301
TEL:03-3449-8684 FAX:03-3449-2625
E-mail:mail@takahara-env.or.jp

日本生命財団 高齢社会 「先駆的事業助成」「実践的研究助成」

平成24年度も例年通り、「先駆的事業助成」と「実践的研究事業助成」の募集を行っています。特に平成24年度は東日本大震災被災地を研究対象フィールドとする研究、被災地の復興に資する事業の多くの応募を期待しています。

募集内容の詳細は日本生命財団ホームページ
(http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kourei/02_gaiyo.html)をご確認ください。

- 応募締切:先駆的事業助成 5月31日(木) 消印有効
実践的研究助成 6月15日(金) 消印有効
- 連絡先:公益財団法人日本生命財団 高齢社会助成事務局
〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋3-1-7
日本生命今橋ビル4階
TEL:06-6204-4013 FAX:06-6204-0120

平成24年度「放課後児童クラブ施設整備事業」

- 助成対象:放課後児童クラブ室の整備(創設、改築、拡張、改修)に要する経費
- 対象施設:昼間保護者のいない家庭の小学校低学年児童、その他健全育成上指導を要する児童を対象として、放課後児童健全育成事業を実施する「放課後児童クラブ」
- 対象団体:「放課後児童健全育成事業実施要綱」に基づく事業を行う、放課後児童クラブ室を設置するNPO法人、学校法人、株式会社等
- 助成金額:創設・改築)限度額14,336,000円
拡張)限度額2,749,000円
※ホームページの助成案内の計算式をご確認ください
- 募集締切:6月15日(金)
- 連絡先:財団法人 子ども未来財団
〒105-0003 東京都港区西新橋3-3-1
西新橋TSビル8階
TEL:03-6402-4820 FAX:03-6402-4830
E-mail:hokago@kodomomiraizaidan.or.jp

TEL:022-251-3106
E-mail:isigyoun@ybb.ne.jp

6/2 6/23 壮・熟年からのライフプラン創り NPO寺子屋塾 第1回 概論

少子・高齢社会による認知症や独居高齢者の増加に伴い、成年後見制度の必要性も高まっています。複雑すぎる世の中、早すぎることはない、相続・遺言問題まで展望しつつ、安心生活設計を事例とともに研究しましょう。

- 日時:(1)6月2日(土) 14:00~15:30
★少子・高齢社会と一生の道筋の激変
★認知症・介護(費)問題、ライフプランなど
(2)6月23日(土) 14:00~15:30
★成年後見制度、元気なうちの「老い支度」など
- 場所:みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区権ヶ岡5)
(6/2)第2会議室
(6/23)第1会議室
- 定員:30名(定員になり次第締切)
- 参加費:1,000円
- 申込方法:氏名、年齢、電話番号、住所、資格等を明記の上、メールにて申込
- 主催:(特活)経営体質改善サポート宮城
- 連絡先:E-mail:satosun@mopera.net

6/9 フォーラム「支えるネットワークと連携めざして」

家族と暮らせない。東日本大震災で親を失った。そんな子どもたちが、様々な困難を乗り越えて成長していくために、「家庭」を保障し、社会全体で支えていくことを願います。同じ願いを多くの人々にひろげ、子どもたちの支えとなる連携をつくりだすことを目的として開催します。

- 日時:6月9日(土) 13:00~16:30
- 場所:のびすく泉中央ホール
(仙台市泉区泉中央1-8-6)
- 内容:★「里親さんを待っている子どもたち」
講師:宮城県中央児童相談所
★「家庭で育てる、地域で育てる」
子どもと家庭を地域はどう支えるか?
講師:宮島清氏(日本社会事業大学専門職大学院准教授)
★トークセッション「私の里親家族」
講師:里親さん×山崎剛氏
(宮城県中央児童相談所所長)

★交流会

- 参加費:無料 ※交流会参加の方は3,000円
- 託児:あり。申込時に、託児希望人数、お子さんの名前、性別、年齢を明記(申込締切6/7)
- 申込方法:氏名、所属、住所、電話番号、託児の有無、交流会参加の有無を明記の上、下記連絡先まで申込
- 共催:宮城県里親連合会、仙台市ほほえみの会(里親会)、(特活)子どもの村福岡、宮城県、仙台市
- 連絡先:東北・SOS子どもの村情報センター
TEL:022-748-6936
FAX:022-748-6931
E-mail:cvinfo@cv-f.org
(特活)子どもの村福岡
TEL:092-737-8655
FAX:092-737-8665
E-mail:fukuoka@cv-f.org

6/9 6/23 6/30 ~あなたの心に寄りそう~ 仙台傾聴の会 傾聴ボランティア養成講座

人は誰かに話を聞いてもらうことで、心が軽くなり、浄化され、悩みの半分は軽減されるといわれています。日常の中に生かせる「傾聴」、あなたも身につけてみませんか。

- 日時:(1)6月9日(土)
「傾聴の基本」「共感と受容」
(2)6月23日(土)
「傾聴スキル」「ロールプレイ」
(3)6月30日(土)
「認知症について」「エゴグラム」
全日程10:00~15:00
※3日間参加の方に修了証を授与します
- 場所:福祉プラザ11階 第1研修室
- 講師:吉川ちひろ氏(臨床心理士)
- 定員:30名(定員になり次第締切)
- 参加費:5,000円
- 申込方法:下記連絡先まで、事前電話申込
その後、下記口座への受講料の振込み確認後、受付完了とさせていただきます
※口座番号は、お電話いただいた方へお知らせいたします
- 主催:仙台傾聴の会
- 連絡先:(森山)TEL:090-6253-5640

情報をお待ちしています

- 申込方法:問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **※郵送は無料です!**
- 締切:毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人社の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区権ヶ岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
e-mail:npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト 「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人社の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jpまで

- 場 所:みやぎNPOプラザ
- 定 員:3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主 催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

5/25 NPOのための会計・税務講座(1) NPO会計のイロハ

NPO会計の特徴と基礎を学んで、信頼ある組織運営を！NPO会計の基礎から、一般企業とは異なる特長、帳簿の付け方、具体的な日々の会計処理の方法までを分かりやすく学びます。

- 日 時:5月25日(金) 13:30~16:30
- 場 所:みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師:平野由紀子氏(税理士)
- 対 象:NPOの会計担当者や理事、監事、これから会計を担当される方、再確認したい方など
- 定 員:20名
- 参 加 費:1,000円
- 主 催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画:実施:(特活)杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

5/26 リリアン&オギラ スラムの学校への熱い思いを今語る!!

10年前、一人の女性が始めたマゴソスクール。スラムで生まれ育った女性がなぜ学校を作ったか？仙台との意外な関係とは？創設者リリアンと教頭オギラがこれまでの感謝を込めてやってきます。

- 日 時:5月26日(土) 14:00~、19:00~(開場それぞれ30分前)
- 場 所:仙台市民活動サポートセンター6F セミナーホール
- 講 師:リリアン・ワガラ氏(マゴソスクール創設者)
ヘゼカヤ・オギラ氏(マゴソスクール教頭)
早川千晶氏(フリーライター、マゴソスクール運営)
- 参 加 費:無料
※マゴソスクールのカンパ大歓迎
- 主 催:(特活)amani・ヤ・アフリカ
- 連 絡 先:〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
みやぎNPOプラザ レターケースNo.16
TEL/FAX:022-247-4225
E-mail:info@amani-ya.com
URL:http://amani-ya.com/

5/26 5/27 関山街道フォーラム ~道がつなく絆 関山街道の新しい魅力再発見~

歴史に関する団体や市民活動団体、企業、行政の取り組みや活動などの事例紹介、沿道の史跡探訪を通じて、地域の魅力再発見、情報の共有による各団体間相互の交流、連携を図ります。

- 場 所:仙台市広瀬市民センター
(仙台市青葉区下愛子字観音堂5)
- 内 容:【5月26日(土)】13:00~19:30
★第一部 講演会
記念講演「歴史探訪 関山街道を歩く」
講師:平川新氏(東北大学教授、「歴史探訪 関山街道を歩く」執筆者)
基調報告「宮城地区雑記控え」
講師:本間一夫氏(仙台市宮城地区郷土史

探訪会会長)

- ★第二部 活動事例発表
コーディネーター:宮原育子氏(宮城大学事業構想学部教授)
- ★交流会

【5月27日(日) 9:00~15:00】※雨天決行

★街道探訪会「宿場町を歩こう」バスツアー&ハイク

- 定 員:講演会・活動事例発表会:80名程度
交流会:50名程度 街道探訪会:35名
- 参 加 費:講演会・活動事例発表会:無料
交流会:3,000円 街道探訪会:3,500円
- 申込方法:参加希望内容、住所、氏名、年齢、電話番号、所属団体を記入の上、往復はがきで申込(応募多数の場合抽選、後日参加の可否について連絡)参加費がかかるものについては、5月22日までに広瀬市民センター窓口で支払い
- 申込締切:5月15日(火)
- 主 催:関山街道フォーラム実行委員会
- 連 絡 先:(担当:横山)
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-13-32
オーロラビル2階
TEL:022-722-3380 FAX:022-722-3381
E-mail:miyagi-kaidou@auone.jp
URL:http://tohoku-kaido.com/miyagi/index.html

5/29 第4回生ごみ堆肥化&ベランダ園芸講座 目指せ！緑のカーテン

今年も節電の夏がやってきます。涼しくておいしい緑のカーテンに挑戦してみませんか？作り方のコツや適した植物の紹介等、基本を分かりやすく伝授します。

- 日 時:5月29日(火) 10:00~12:00
- 場 所:ガーデンガーデン(仙台市青葉区上愛子蛇台原62-5)
- 講 師:田中紳伍氏
(ガーデンガーデン店長、グリーンアドバイザー)
- 持 ち 物:筆記用具
- 定 員:30名
- 参 加 費:一般500円 会員:400円
- 申込方法:氏名、電話番号、住所、会員・一般を明記の上、下記連絡先まで申込
- 申込締切:5月22日(火)
- 主 催:公益財団法人みやぎ環境とくらしネットワーク(MELON)
- 連 絡 先:(担当:篠原、広重)
〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
フォレスト仙台5F
TEL:022-276-5118(平日9:30~18:00)
FAX:022-219-5713
E-mail:melon@miyagi.jpn.org
当日連絡先:090-1377-8867

6/2 ぼくたちは見た~ガザ・サム二家の子どもたち~

300人以上の子どもが犠牲になったパレスチナ・ガザ地区への攻撃。子どもたちの目線から戦争を描いたドキュメンタリー。

- 日 時:6月2日(土) 14:00~
- 場 所:エル・パーク仙台 ギャラリーホール
- 参 加 費:前売り:1,000円、当日1,200円
- 申込方法:前売券は「ブックカフェ火星の庭」にて販売
- 主 催:パレスチナと仙台を結ぶ会
- 協 力:みやぎヒューマンドキュメンタリーを観る会
- 連 絡 先:パレスチナと仙台を結ぶ会

5/13 第8回 仙台ピアカウンセリングの集い ～仲間と共に癒しの時を持ちませんか!～

大震災であなたの心は折れそうになっていませんか?こんな時だからこそ話し合える仲間が必要なんです!仲間と経験と力と希望を分かち合い共に勇気を持って力強く新しい人生(回復と生活の再建)に出発しませんか?

- 日 時:5月13日(日) 14:00～16:00
- 会 場:仙台市福祉プラザ10階 第4研修室
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 対 象:精神障害当事者、健常者であっても今回の大地震で心が痛み悩んでいる方、及び家族に限定(タイプ別例会クローズ方式)
- 内 容:ひたすら体験を語り又聴くことを通して精神疾患からの回復を目指す自助グループの集いです
- 定 員:20名(予約制)
- 参加費:無料
- 申込方法:下記連絡先まで電話またはメールにて申込
- 主 催:仙台心のケア研究会
- 連絡先:事務局(担当:吉村)
TEL:080-3328-7186
E-mail:qqw59pc9k@star.ocn.ne.jp

5/16 女性支援者のためのこころの手当て

被災者のために頑張りが過ぎて、自分のケアを置き去りにしていませんか?辛いこと、悲しいことをそのままにしていると、こころが折れてしまうことも…長く支援を続けていくためにもあなた自身を大切にしましょう。

- 日 時:5月16日(水) 13:30～15:30
- 場 所:エル・ソーラ仙台 サポートルーム(アエル29F)
- 講 師:門間尚子氏(女性と子どもの人権ファシリテーター)
- 対 象:被災者支援をしている女性
- 定 員:30名(先着順)
- 参加費:500円
- 託 児:無し
- 申込方法:下記連絡先まで問合せ
- 主 催:財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先:エル・ソーラ仙台
TEL:022-268-8044 FAX:022-268-8045
URL:http://www.sendai-l.jp

5/16 5/30 市民のためのデザインレイアウト・作文講座

市民の情報発信に必要なチラシ、パンフレットなどのデザイン・レイアウトの基礎を学ぶ講座と、東日本大震災を書き残したい方や書き方がわからず困っている方などのための、作文講座を開催します。

- 【市民のためのデザインレイアウト講座】
- 日 時:5月16日(水) 19:00～20:30
 - 講 師:真山正太氏(グラフィックデザイナー)
 - 参加費:1,000円

- 【市民のための作文講座】
- 日 時:5月30日(水) 19:00～20:30
 - 講 師:大泉浩一氏(ライター、編集者)
 - 参加費:500円

【共通事項】

- 場 所:仙台市市民活動サポートセンター 研修室2

- 定 員:各回15名(申込先着順)
- 主 催:NPOメディアデザインサポート
- 連絡先:〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-1-11
朝日プラザ北一番丁1階
TEL:090-3049-0613 FAX:022-224-5308
E-mail:npo@md-sendai.com
URL:http://www.md-sendai.com

5/18 行政職員のためのNPO理解講座

NPOと行政が有意義な関係を築くために、NPOの基礎やNPOとの協働のポイントを学ぶ、行政職員対象の講座です。

- 日 時:5月18日(金) 14:00～16:00
- 場 所:みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師:大久保朝江氏((特活)杜の伝言板ゆるる代表理事)
- 対 象:宮城県や県内市町村のNPO・市民活動担当部署職員、およびNPOとの協働について理解を深めたい行政職員
- 定 員:20名
- 参加費:無料
- 主 催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画:実施:(特活)杜の伝言板ゆるる
- 連絡先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

5/19 第18回泉区福祉のつどい ～ネットワーク作りをめざして～

行政、ボランティアグループ、自助グループ、その他福祉関係の団体や事業者など、様々な方々の交流の場です。情報交換をしながら、ネットワークを広げてみませんか?

- 日 時:5月19日(土) 17:30～20:00
※都合の良い時間にお越しください
- 場 所:仙台市泉社会福祉センター 大会議室1・2
- 内 容:参加者の自己紹介、名刺・情報交換 など
- 申込方法:下記連絡先まで申込
- 主 催:泉区福祉ガイドブック作成委員会
- 連絡先:(担当:佐瀬) TEL/FAX:022-218-0745

5/20 音楽でつなぐ復興の輪コンサート

皆さんでこれからの気仙沼市を本気で考えて頂けるきっかけになって頂けたら幸いです。上を向いて歩こう、未来の子供達にどんな社会を残せるか。そして夢を観る社会創りを私たちが作りましょう!

- 日 時:5月20日(日) 11:00～14:00
- 場 所:渡辺無線前(元気仙沼産折スーパー向かい)
- ゲ ス ト:NOBY(長屋伸浩)氏(トランペット奏者)
- 参加費:入場無料
- 申込方法:下記連絡先まで問合せ
- 主 催:おせっかい未来サポート
- 連絡先:(担当:加藤) TEL:090-4316-6833

5/24 NPOのための会計・税務相談

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- 日 時:5月24日(木) 13:00～17:00



事業案内



二酸化塩素消臭・除菌剤 無料モニターキャンペーン

大震災でも高い評価を得た二酸化塩素消臭・除菌剤ゲルを、使用後のアンケートにお答えいただける方に無料配布いたします。

- 目的: 消臭・除菌による生活環境の改善
- 場所: トイレ、玄関、キッチン、流しの下、下駄箱、ペット周辺、ごみ箱など
- 費用: 無料(モニターキャンペーン100名様限定)
※12畳前後で約2ヶ月
- 主催: (特活)シニアサポートセンターみやぎ
- 連絡先: (担当: 高森)
TEL: 022-779-6723 FAX: 022-779-6724

動物たちの3.11 ～被災地動物支援ドキュメンタリー～

自分自身が被災しつつも、動物の支援活動を続けている「NPO法人アニマルクラブ石巻」。あの日、何が起こったのか…震災当日の克明な記録、被災地の実情のほか、緊急災害時の動物支援の難しさなども取り上げています。

- 内容: 46判 224ページ
- 価格: 1,365円(税込)
- 購入方法: アマゾン、エンターブレインまたは、全国の書店で
- 著者: (特活)アニマルクラブ石巻代表 阿部智子
- 発行: 株式会社エンターブレイン
- 連絡先: (特活)アニマルクラブ石巻
〒986-2199 石巻市渡波郵便局私書箱1号
「アニマルクラブ」
TEL/FAX: 0225-23-2680
E-mail: animalclub30@gmail.com
(件名に「アニマルクラブ石巻」と明記)
URL: <http://a-c.sub.jp/>



イベント



毎週水曜日 NPOのための法人設立・団体運営相談

NPO法人の設立に関わることやNPOの運営について、お気軽にご相談ください。

- 日時: 毎週水曜日 13:00～17:00
- 場所: みやぎNPOプラザ
- 定員: 3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間。
- 主催: 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先: みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

5/10 NPOのためのマネジメント講座(1) * 押さえておきたい! 改正NPO法理解講座

NPO法の改正に伴い、所轄庁の変更や会計報告の仕方も変わるほか、理事の代表権の制限に関する登記も必要になります。改正のポイントを理解し、今後の団体運営に活かしましょう!

- 日時: 5月10日(木) 14:00～16:00
- 場所: みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講師: 大久保朝江氏(NPO法人杜の伝言板ゆるる)

代表理事、みやぎNPOプラザ館長)

- 対象: NPO法人の代表、役員、スタッフなど
- 定員: 20名(先着順)
- 参加費: 800円
- 主催: 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施: (特活)杜の伝言板ゆるる
- 連絡先: みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

5/12 宮城でも自然エネルギーやっべし! 第1回会合

東日本大震災を経験して、改めて自分たちの生活が危ういエネルギー基盤の上にあったことに気づきました。原発にも石油石炭天然ガスにも頼らず、身近にある自然エネルギーを活用した持続可能な地域や暮らしを、宮城から創りたい。そんな想いをを持った方に集まっていたいただき、語り合い実践につなげていく場を企画しました。

- 日時: 5月12日(土) 13:30～16:30
- 場所: 仙台市民会館 第5会議室
- 内容: ★エネシフみやぎ準備会&会合の趣旨説明
★「東北地方の豊かな自然エネルギーとエネシフ山形(仮)」講師: 三浦秀一氏(東北芸術工科大学准教授、エネシフヤマガタ)
★みやぎで自然エネルギー! どう進める?! ワークショップ
★全体まとめと今後の活動について
★交流会(予定)
- 定員: 約40名
- 参加費: 500円(会場代、資料代)
- 申込方法: 氏名、メールアドレス、所属(任意)、コメント(任意)を明記の上、メールにて申込
- 主催: エネシフみやぎ準備会
- 連絡先: E-mail: eneshif.miyagi@gmail.com
URL: <http://eneshif-miyagi.tumblr.com/>

5/12 南部発達相談支援センター (南部アーチル)開所セミナー 共に、住み慣れた地域で、認め合い、 支え合いながら、生き生きと暮らす

発達障害児者を取り巻く状況は大きく変わりました。今回のセミナーでは、発達障害児者と家族が住みやすい地域社会について、皆さまと共に考えていきたいと思います。

- 日時: 5月12日(土) 13:30～16:15
- 場所: 仙台市太白区文化センター 楽楽楽ホール
(仙台市太白区長町5-3-2)
- 内容: ★第一部 講演
「地域での発達障害に対する一貫した支援のあり方」講師: 安達潤氏(北海道教育大学教授)
★第二部 発達障害に向き合って生きる本人からのメッセージ「私の気持ちをお伝えします～もっと私たちが暮らしやすく働きやすい社会になればいいと願って～」
- 対象: 市民、関係機関職員
- 定員: 500名(先着順)
- 参加費: 無料
- 申込方法: 下記連絡先まで電話、FAX、メールにて申込
- 主催: 仙台市南部発達相談支援センター(南部アーチル)
- 連絡先: 〒983-3133 仙台市太白区長町南3-1-30
TEL: 022-247-3801 FAX: 022-247-3819
E-mail: fuk005080@city.sendai.jp

- 但し、活動は、コンテスト応募後より開始して下さい
- 支援金：・学校部門、一般部門の中から、計50団体を選考し、実施支援金として各10万円を贈呈
・応募いただいた団体には、参加賞としてチキンラーメン1ケース(30食)をお送りします
 - 表彰：【学校部門】
文部科学大臣奨励賞/1校(団体) 100万円+チキンラーメン1年分
優秀賞/1校(団体) 50万円+チキンラーメン半年分
【一般部門】
安藤百福賞/1団体 100万円+チキンラーメン1年分
優秀賞/1団体 50万円+チキンラーメン半年分
【トム・ソーヤー奨励賞】
企画内容がユニークであり、他団体への刺激や参考となり、さらなる飛躍が期待できる団体を選考し表彰(チキンラーメン半年分)
 - 申込方法：所定の応募フォーマットに必要事項を記入し、団体の概要がわかる必要書類を同封の上、郵送で提出
※応募フォーマットは、下記HPからダウンロード可能
 - 申込締切：5月17日(木) 必着
 - 主催：公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
 - 連絡先：「トム・ソーヤースクール企画コンテスト」係
(担当：大塚(おおあ)、野村)
〒563-0041 大阪府池田市満寿美町8-25
TEL:072-752-4335 FAX:072-752-1288
E-mail:zaidan@shizen-taikem.com
URL:http://www.shizen-taikem.com/

住友商事 ユースチャレンジ・プログラム インターンシップ奨励プログラム

このプログラムは、被災地で活動しているNPOで長期のインターン活動を行うユース世代に対して奨励金を支給し、学ぶ場を提供することにより、地域の再生に取り組むことを応援するものです。

※プログラム詳細の確認、応募用紙のダウンロードは
<http://www.civildfund.org/youth-challenge.html>から可能です。

- 活動期間：2012年7月1日～2013年3月31日(9ヶ月間)200～300時間
- 受入団体：★(特活)グループゆう ★(特活)都市デザインワークス★国際交流協会ともだちin名取 ★(特活)Switch ★(特活)ハーベスト ★一般社団法人ぶれいん・ゆにへくす ★(特活)せんだい・みやぎNPOセンター
- 対象：被災地の地域再生に関心をもつユース世代(大学生、大学院生など)で、主に10代後半～20代までの方
- 定員：10名程度(7つの受入れ団体に各1～2名)
- 申込方法：所定の応募用紙に記入の上、下記連絡先まで申込

- 申込締切：2012年5月1日(火)～5月15日(火) 必着
- 主催：住友商事株式会社
- 企画・運営協力：(特活)市民社会創造ファンド
- 現地協力：(特活)せんだい・みやぎNPOセンター
- 連絡先：(特活)せんだい・みやぎNPOセンター(担当：小川)
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4階
TEL:022-264-1281 FAX:022-264-1209
E-mail:minmin@minmin.org
URL:http://www.minmin.org/

みやぎ県民大学 募集説明会

「現代的な課題」「地域の課題」「廃棄物のリサイクル」などをテーマとした「自主企画講座」を開設していただけるNPO・グループ(法人格不問)の方へ、説明会を開催します。

- 日時：5月10日(木) 14:00～15:30
- 場所：宮城県庁行政庁舎6F 611会議室
- 対象：以下1～3を全て満たす団体
1.県内に事務所を有し、生涯学習に関する講座が開講できる非営利団体であること
2.規約等を持ち、総会や理事会などで団体の意思決定ができ、財産管理の方法が明確であること
3.独立性を持ち、責任体制が確立されていること
- 申込方法：下記連絡先まで、「団体・グループ名」「参加者名」「連絡先」を電話またはFAXにて申込
- 主催：宮城県教育庁生涯学習課生涯学習振興班
- 連絡先：〒980-8423 仙台市青葉区本町3-8-1
TEL:022-211-3652 FAX:022-211-3697

多賀城市市民活動サポートセンター ロッカー・レターケース 利用団体募集中

多賀城市市民活動サポートセンターでは、市民活動団体等を対象に、ロッカー・レターケースの利用団体を募集しています。新しい活動の拠点として、ご利用ください。

- 使用期間：平成24年6月1日(金)～平成25年5月31日(金)
- 対象：市民活動団体、ボランティアサークル、まちづくり活動をする団体など
- 使用料：ロッカー 200円/月
レターケース 無料
- 申込方法：申請に必要な書類はセンターの窓口でお渡しいたしますので、下記住所までご来館の上、お申し込みください
- 申込締切：5月15日(火)
- 連絡先：多賀城市市民活動サポートセンター
〒985-0873 多賀城市中央2-25-3
TEL:022-368-7745 FAX:022-309-3706
URL:http://www.tagasapo.org/

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2012.4.16現在) 敬称略

- 正会員40名
★栗原市 ●くりこま高原自然学校 佐々木豊志
- 賛助会員27名
- 情報会員70名
★仙台市 ●鈴木啓子 ●麗人会 今野清子
●(社)仙台ビーナス会
●仙台市企画市民局男女共同参画課
★名取市 ●名取市ボランティア連絡会

会員募集

会員種類	年会費
個人正会員	10,000円
NPO正会員	10,000円
法人正会員	20,000円
個人・NPO賛助会員	5,000円
法人賛助会員	30,000円
情報会員	3,000円

郵便口座番号 02250-0-43800

振替口座 加入者名 特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる (会員申込みの方は、通信欄に
会員の種類をご記入下さい)

社の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営やそれに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊ゆるるは、市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

■会員には毎月「月刊ゆるる」が届きます

※正会員以外には、総会での議決権がありません

information

4月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア募集

保護した動物たちのためのボランティア募集

アニマルクラブ石巻では、ボランティアさんを随時募集中です。動物たちのために自分は何ができるか？どんなことをしていきたいか？を考え、役割を分担して活動に参加してもらいます。不定期でも、保護した猫の爪切り、毛玉取りができるボランティアさんを募集します。

- 活動内容：掃除、猫の爪切り、毛玉取りなど
- 活動日時：随時
- 活動場所：石巻市内会員宅
- 対象：定期的に継続して参加いただける方
- 募集主体：(特活)アニマルクラブ石巻
TEL/FAX:0225-23-2680
E-mail:animalclub30@gmail.com
(件名に「アニマルクラブ石巻」と明記)
URL:http://a-c.sub.jp/

国際協力活動、アフリカ、ケニアに興味のあるボランティアスタッフ募集!!

ケニア現地にも国際NGOを立ち上げ、根を張った活動を展開しているNPO法人です。現在、活動内容の情報発信、フェアトレード商品の販路拡大や商品デザインに力を入れています。ぜひボランティアスタッフとして、共に活動しましょう!

- 主な活動内容：
 - ★ケニア、ティカ市の職業訓練所の運営
 - ★ケベラスラムの小学校「マゴソスクール」の運営支援
 - ★ケニア現地へのスタディツアーの企画、運営
 - ★フェアトレード商品の販売・オンラインショップの運営
- 活動場所：みやぎNPOプラザ内事務所
その他各種イベント会場等
- 対象：国際協力やアフリカに興味があり、NPO法人で経験を積みたい方
・フェアトレード商品のデザイン・企画に興味のある方
・イベントの企画・運営に興味のある方
・国際協力の業界で自分のスキルを活かしてみたいという方(特にWord、Excel、Power Point技術をお持ちの方、Web製作関係で、HTMLやCSSの知識、Adobe IllustratorまたはPhotoshopの技術等をお持ちの方)
- 主催：(特活)amani・ヤ・アフリカ
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
みやぎNPOプラザ レターケースNo.16
TEL:090-9636-3020 FAX:022-247-4225
E-mail:info@amani-ya.com
URL:http://amani-ya.com/

音声解説制作講座(説明会)

せんだいメディアテークでは、目の不自由な方が映画を楽しめるよう、音声解説を制作しています。今年度の活動を行うにあたり、事前説明会を開催し、音声解説制作の内容や方法など

の講座内容を説明します。受講希望の方はご参加ください。

【説明会】

- 日時：5月7日(月)、12日(土)、18日(金)、31日(木)
全日程13:30~14:30
※いずれか1日に参加してください
- 場所：せんだいメディアテーク7階 スタジオb
- 申込方法：不要。直接メディアテークへご来館ください
※5/27に、音声解説付きの映画「初恋」(橋幸成監督)を上映します。参考までにぜひご来場ください。(詳細はHPをご覧ください)

【音声解説者講座】

- 日時：★朗読講座 6月8、15、22日(金)
★音声解説シナリオ講座 6月29日、7月6、13日(金)
★音声解説技術講座 7月20、27日(金)
全日程14:00~16:00
※また成果品として、11月に上映をおこないます
- 場所：せんだいメディアテーク2階会議室
- 資格：以下の条件をすべて満たす方 ※音訳の経験は不問
・上記日程の講座に全回参加できる
・自宅でDVDをみる事ができる
・パソコン操作ができる
・継続して1年以上活動ができる
- 定員：10名程

【共通事項】

- 募集主体：せんだいメディアテーク
- 連絡先：〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
TEL:022-713-4484 FAX:022-713-4482
E-mail:office@smt.city.sendai.jp
URL:http://www.smt.jp

お知らせ

第11回 トム・ソーヤースクール企画コンテスト

子どもたちの「自活力」や「協調性」を育む自然体験活動の実施を推進し、その企画力の向上を図るために、全国からユニークな自然体験活動のアイデアを募集し、実施支援金を贈呈します。

- 対象活動：子どもたちが参加する自然の中での体験活動で、ユニークさと創造性にあふれ、高い教育効果が得られるもの
- 対象団体：【学校部門】
 - ・小・中学校または、小中学校より委託・協力・協働等によって事業を主催する団体
 - ・授業や課外活動の一環として行われる活動で、小中学生が10名以上参加する企画で、学校長の承認を受けたもの【一般部門】
 - ・定款・規約等が整備され、組織としての形態を有し、活動を主催する団体
 - ・小中学生が10名以上参加する企画
- 活動期間：2012年3月1日(木)~10月23日(火)までの間に実施する活動

Web約款で日本の自然を守ろう!

SAVE JAPAN
プロジェクト

自然と触れ合う 水辺の貴重な生き物観察会

日時

6月17日(日)
9:00~17:00

大崎市の天然記念物

シナイモツゴをご存じですか?

宮城県の地名を冠する、

唯一の魚ですが、

一時は全滅したと思われていました。

1993年に再発見し、

地域住民あけて保護と復元に

取り組んでいます。

きれいな小川のシナイモツゴや

激減しているゼニタナゴなどに

会いに行きましょう!

参加対象 小学生と保護者(親子で参加)※小さなお子さんとはご連絡ください

定員 30名(先着順) 参加費 無料(昼食付)

スケジュール ● 仙台駅集合、貸切バスで移動し、会場の大崎市鹿島台へ移動
※予定 ● 品井沼の説明 ● 繁殖池でシナイモツゴ産卵を観察
● 昼食(こちらで準備します) ● 深谷川あるいは広長川で生き物調査
● 振り返り ● 大崎市から仙台市へ

申込方法 下記記入事項を明記の上、申込先まで電話あるいは、FAX、メールにて申込
Save JapanプロジェクトHP、申込フォーマットからも申込可能
<http://savejapan-pj.net/sj2012/>

申込記入事項 ● 代表申込者名 ● 代表者連絡先(TEL、FAX、E-mail)
● 全参加者名(名前、年齢、性別) ● 居住地、学年

申込締切 6月11日(月)

共催 NPO法人シナイモツゴ郷の会、NPO法人社の伝言板ゆるる
認定NPO法人日本NPOセンター

協賛 株式会社損害保険ジャパン

● 申込み・お問合せ: NPO法人社の伝言板ゆるる(下記連絡先をご覧ください) ※ Save Japanプロジェクトについては、P7をご覧ください。

特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる

会員となって
私たちを応援してください!

【正会員】

10,000円(総会の議決権あり)

【賛助会員】

【個人・NPO】 5,000円

【企業・団体等】 30,000円

【情報会員】

3,000円

第10回
通常総会のお知らせ

日時

平成24年7月28日(土) 14:00~

会場

みやぎNPOプラザ

正会員の皆様のご出席をお願い致します。
なお、議決権はありませんが、
賛助会員の皆様もオブザーバーとして参加ができます。
会員同士の交流会もあります。
ぜひご予約に入れてくださいますよう
お願い致します。